

平成30年度大垣市立南中学校 自己評価 集計結果【確認】・個人ではなく学校としての評価(4よくできている、3だいたいできている、2あまりできない、1できていない)

重点	仮説・最終目標	方策	具体的な手だて	目標	評価
1 学力向上	教師の授業力が向上し、生徒が自分に自信をもって誠実に学習に向かえば、学力は向上する。	①教師の指導力向上 ◇教師の授業力向上 ・教科部会や研究体制を充実させることで、教師の教科指導力、授業力を向上させる。	・教科部会での授業交流。 ・付ける力とその方法を明確にする研推委 ・学力向上委員会による「これだけは」の徹底 ・管理職・主任層による丁寧な職員指導	・学力テストで市内上位 ・「授業がよくわかる」90% ・「授業をやっていて楽しい(教師)」90%	2.75 1 16 7 0
		◇学級経営力・教科経営力の向上 ・学年による支援体制や教科における共通実践のもとに、学習集団としての質を高める。	・学年体制でサポートする学級経営 ・学級経営の見通しがもてる指導部の提案 ・学習指導部による「学び方」指導の提案 ・教科部会での教科固有の学び方についての理解	・「授業で話し合い活動をよく行った」100% ・「授業の終わりに何がわかるようになったか振り返る」80%	2.92 1 20 3 0
		◇創意工夫を凝らした学習指導の充実 ・MJ、漢字テスト、質問会等を実施して、個に応じたきめ細やかな指導を充実させる。	・土曜授業を有効活用した「MJ」の実施 ・毎週火曜日の朝活動で実施する漢字テスト ・定期テスト前に実施する「質問会」 ・教科部会での指導内容の精選	・家庭学習「学年+1時間」80% ・漢字テスト全員合格 ・MJ全員やりきり	2.67 1 14 9 0
	<最終目標> 市内トップクラスの学力	②生徒の自尊感情の高揚 ◇自己有用感や自己肯定感の高揚 ・自分に自信をもち、他者との協働を通して自己の成長を実感することで、主体的に学びに向かい、自ら考え、仲間と共に高め合う生徒を育成する。	・自他を尊重する精神を養う学級経営 ・自他のよさを認め合う意図的な学級活動 ・自己理解をはかる委員会や部活動での異学年交流 ・学校行事を通じた達成感・成就感の体得	・「よくほめられたり認められたりする」80% ・「自分にはよいところがある」80% ・「自分は人の役に立っている」80%	2.83 1 18 5 0
2 安心安全	教職員が高い危機管理意識をもち、生徒が自分の命を自分で守ろうと意識して生活すれば、安心安全な学校体制が維持できる。	①教職員の危機管理に対する意識の高揚 ◇学校管理下における生徒の安全確保 ・生徒の安全確保を最優先とした主体的な動きができる教職員を育成する。	・「命を守る訓練」を通じた避難・回避方法の習得 ・防災や減災に関する知識を習得する職員研修 ・高い危機管理意識による施設経営	・「南中は生徒一人一人の命を大切にしている(保護者)」100%	3.00 1 16 7 0
		◇絶対いじめを容認しない体制づくり ・小さな変化を見逃さず、迅速に対応する職員集団の育成	・アンケート調査に基づいた確かな実態把握 ・問題解決に向けたケース会議等の組織的対応 ・教育相談等を含めた外部機関との密接な連携	・「いじめはどんな理由があってもいけない」100%	3.04 4 18 3 0
		◇温かい学級・学年集団の形成 ・信頼関係に裏付けられた、自浄作用のある学級集団を構築し、全校体制で安心安全な学校生活をつくり上げる。	・学級づくり指導部の提案による指導体制の確立 ・学年会を核とした足並みの揃った指導体制 ・管理職の指導による学級経営の質の向上 ・主任会での情報交流を基にした全校体制の確立	・「困ったことがあるときに相談できる人がいる」90% ・「班や学級は居心地がよく楽しい」95%	2.84 3 15 7 0
	<最終目標> 迫る危機的問題を自らで回避・解決できる個や集団				

重点	仮説・最終目標	方策	具体的な手だて	目標	評価
2 安心安全	教職員が高い危機管理意識をもち、生徒が自分の命を自分で守ろうと意識して生活すれば、安心安全な学校体制が維持できる。	②自分で自分の命を守りきる生徒の育成			3.04
		◇高い自己防衛能力の育成 ・危険に対する知識を身に付け、自ら考え安全に回避できる能力を育成する。	・多様な状況を想定した「命を守る訓練」の実施 ・薬物乱用防止や自然災害等の研修を通じた危機回避に対する知識理解の習得	・「自分は学校で安心して楽しく生活することができている」95%	
		◇健全な人間関係の醸成 ・仲間のよさを認め、自他の幸福を追求し、努力、挑戦する生徒を育成する。	・心が解放され、自分の思いが語れる学級づくり ・意図的に学級の仲間のよさを見つける場の設定 ・仲間の言動に支えられ、意欲的に挑戦しようとする雰囲気づくり	・「自分の学級には自由に発言できる雰囲気がある」90% ・「失敗は怖くない」80%	4 13 8 0
	<最終目標> 迫る危機的問題を自らで回避・解決できる個や集団	◇健康管理意識の高揚 ・平素から健康に対する意識が高く、自分に厳しく実践できる生徒を育成する。	・自らの健康状態に高い関心をもたせる学級指導 ・各種健康診断結果を基にした健康指導 ・保健委員会による健康意識高揚への啓発活動	・「普段から健康には気をつけている」90% ・「健診結果を基に治療している」90%	3.48
					13 11 1 0
3 自己実現	物事についてじっくり考え、失敗を恐れず果敢に挑戦することを繰り返し指導することで、予測不能な時代を力強く生き抜く生徒が育つ。	①あきらめずに困難に立ち向かう生徒の育成			2.76
		◇「考える」生徒の育成 ・物事の意味や背景についてじっくり考え、困難な状況を打開するための方策を生み出そうと誠実に努力を積み重ねる生徒を育てる。	・困難な課題に対してあきらめずに粘り強く取り組む場を設定する教科指導 ・多様な価値について議論し新たな認識を生み出す道徳科の指導 ・多くの情報を収集し取捨選択する場の設定	・「常に物事の意味や背景について考えている」80% ・「よりよい解決を目指して努力している」80%	
	◇仲間との協働によって打開する生徒の育成 ・一人ではうまくいかない場合でも、仲間との協働によって困難を打開できることを知り、展望をもって事に当たることができる生徒を育てる。	・仲間との話し合いを通して、課題解決の糸口を見つけさせる教科指導 ・問題を自分たちで考え乗り越えさせる学級指導 ・仲間と協力しより質の高い活動となる工夫ができる部活動	・「自分で解決できないことは仲間に相談している」90% ・「仲間に相談するとよりよい解決方法が見つかる」90%	4 18 3 0	
	②進んで新たな物事に挑戦する生徒の育成			2.60	
◇見通しをもち新たなことに挑戦する生徒の育成 ・自分で考えたことを基に、解決や達成に向けた見通しをもちながら、新しいことに挑戦しようとする生徒を育てる。	・学習課題に粘り強く取り組ませる教科指導 ・生活向上を目指した創意工夫に満ちた生徒会活動 ・目標を明確にした探求活動を位置付けた総合的な学習の時間の指導	・「自分には夢や目標があり、いつも意識している」80%	1 13 11 0		
◇失敗を恐れず、果敢に「挑戦」する生徒の育成 ・頭で考え、失敗のダメージを気にするあまり、臆病になり挑戦をあきらめてしまうのではなく、失敗に対する不安を抱きつつも自分なりの見通しをもって果敢に挑戦する生徒を育成する。	・学校生活における自ら考え、判断する場の設定 ・学級活動や委員会活動を通じた自己決定の指導 ・目標を定め、達成に向けた見通しをもたせる指導 ・活動事後の丁寧な見届けと価値付け ・普遍的価値にかかわる集団生活における指導 ・仲間と協力し成果を共有できる部活動の指導	・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」95%	3 12 10 0		
<最終目標> 誠実に「考え挑戦する」ことで、進み道を切り拓く生徒				2.72	

* 評価は上限が4.00、下限が1.00 平均値は2.50となる。微妙な差があるため下二桁までの表示とした。評価の下の数値は左から4、3、2、1と回答した人数